

茨城県立医療大学 第1回ダイバーシティセミナーを3月26日（火）に開催しました。講師としては、東京都健康長寿医療センター研究所研究員の平山亮先生をお招きし、「男の診（み）方（かた）、女の見方 - 「介護する息子たち」を通して考える家族のケアとあり方-」についてご講演いただきました。

介護を担う「息子」が統計的に増加し、男女ともに介護を担う時代と考えられている現在、男性と女性の「親の老い」についての視点の違いや、「息子」が親を介護するときの視点を社会的に分析し、介護をする「息子」自身が気を付けること、周囲の人々がどのように対応すればよいのかについてお話を伺いました。「介護」を社会的な視点から捉えたことは非常に新鮮であり、参加者からは「なるほど！と思うことが多くとても勉強になりました」、「またぜひ参加したいです」などのご意見が寄せられました。

今後も様々な内容でセミナーを開催していきたいと思っております。

